

久慈地区原水協 ニュース

発行者

久慈市川崎町1番1号

原水爆禁止久慈地区協議会事務局

電話 53-6435 (Fax 兼)

2025年6月15日

6/8 今年も歩きました 洋野～普代

ー 原水爆禁止2025年国民平和進行・久慈コース ー

6月8日、2025年原水爆禁止国民平和進行・久慈コースが洋野町種市地区・大野地区・久慈市・野田村を經由して普代村まで、各中心街を横断幕と平和ペナントを掲げ歩いて核兵器をなくそうと呼びかけました。各集会では、該当地区の首長・議長から寄せられたメッセージを紹介しました。通し行進者10名と各市町村での参加者を含め26名が訴えました。



種市駅前での出発式



城内仲悦さん

(久慈地区原水協会長)

主催者挨拶で「今年は被爆80年、原水爆禁止運動は、1954年ビキニ水爆実験で第五福竜丸をはじめとする日本のマグロ漁船1000隻以上が被災し、それがきっかけに日本原水爆禁止運動がはじまりました。

昨年12月に日本被団協がノーベル平和賞を受賞しました。被爆者の皆さんは悲惨な核戦争体験を二度と繰り返してはならないとの思いから運動を続けています。核兵器禁止条約の促進に賛成した国は120カ国以上です。日本政府はいまだに批准を

していません。唯一被爆国の日本政府が率先して批准するよう求めていきたいと思います」と呼びかけました。



中野るみ子さん

(県実行委員会代表委員)

連帯挨拶で「今、ウクライナへの侵略をみてもガザへの攻撃をみても深刻な状況が続いています。世界にはイスラエルを含む9つの核兵器保有国が、12000発以上の核兵器を保有しています。4000発が実装配備されています。そのうち半数が数分以内に発射できるとされています。

プーチン大統領の核の脅しや北朝鮮のたびたびの弾道ミサイル発射。いまほど核兵器を使うな、核兵器をなくせの声求められます」と述べました。

プーチン大統領の核の脅しや北朝鮮のたびたびの弾道ミサイル発射。いまほど核兵器を使うな、核兵器をなくせの声求められます」と述べました。



大野地区で到着式



三浦修悦さん

(山形町・千手寺住職)

激励あいさつで、「4、5年前にお寺に来ていただき鐘をついてくださいと依頼

されました。平和大行進もあることを2、3年前に知りました。

今年初めて参加させていただきました。うちのお寺で、以前、花巻市の被爆者斉藤政一さんをお呼びして檀家さんと一緒にお話を聴きました。戦争が続く昨今ですが、痛みとか、悲しみとか、苦しみを忘れないようにと個人的に思うところです。ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ」と述べました。



木村明さん

(宮古地区原水協)

引継ぎ挨拶で「宮古で

5月3日、高校生平和大使

の畠山史子さん(一関一高3年生)と県原水爆禁止被害者団体協議会の三田健二郎会長を招いてお話を聴きました。また、映画はだしのゲン上映や紙芝居を行いました。

平和大使の畠山さんは『非力だけれども無力ではない』をテーマに運動を進めていると力強くお話ししました」と述べました。



久慈市を行進



野田村の鳥居前で到着式



普代村を行進



久慈市行進参加者が久慈駅前で



(左上) 久慈市長のメッセージを紹介する久慈市職労の種綿さん

(右上) 普代村長らのメッセージを紹介する普代村職の佐々木さん(左)と笹原さん



(左) 次のコース 宮古地区原水協の木村さん(左)に横断幕と平和ペナントを引き継ぐ